



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

2022年3月期 第2四半期

決算説明会

2021年11月9日

決算数値編

「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。
本資料では前期の数値は当該会計基準等を適用したと仮定し、作成しています。

連結損益計算書

(億円) (億円未満切捨て)

	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	増減額	対前年 増減率
売上高	2,829	2,869	+ 39	1.4%
営業利益	110	122	+ 11	10.1%
営業外損益	8	10	+ 1	19.6%
経常利益	119	132	+ 12	10.8%
特別損益	△14	△9	+ 5	—
税引前利益	104	123	+ 18	17.6%
純利益※	71	85	+ 13	19.2%

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

【連結損益計算書】

連結損益計算書です。

当社では、今年度の第1四半期決算から収益認識に関する会計基準等を適用しており、本スライドにおいては前期の数字もそれに合わせて作成しております。

今年度、第2四半期の当社グループの売上高は 2,869億円 前期比 39億円の増収、営業利益は 122億円 前期比 11億円の増益です。経常利益は 132億円 前期比 12億円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益におきましても前期から 13億円の増益となりました。

セグメント別業績結果

(億円)

	2021年3月期 上期		2022年3月期 上期		対前年 増減率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
乳製品	1,140	65	1,178	63	3.3%	△3.7%
飲料・デザート	1,298	27	1,263	34	△2.7%	26.3%
飼料・種苗	212	12	247	14	16.3%	17.8%
その他	177	6	180	8	1.4%	37.9%
合計	2,829	110	2,869	122	1.4%	10.1%

【セグメント別 売上高・営業利益】

セグメント別の業績結果です。

営業利益増減要因

3

(億円未満切捨て)

2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	増減額	セグメント別の増減額			
110億円	122億円	11億円	乳製品 △2億円	飲料・デザート類 7億円	飼料・種苗 2億円	その他 2億円
限界利益 合計	16		0	10	4	1
販売単価差	3		△1	0	4	0
販売物量増減	5		2	2	0	1
製品構成差	11		1	10	0	0
原材料コスト	△6		△3	△3	0	0
オペレーションコスト	△1		△1	0	0	0
その他	4		2	1	0	0
固定費その他 合計	△5		△2	△3	△2	1
宣伝促進費	△8		△1	△7	0	0
固定経費	3		△1	4	△2	1



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

【連結営業利益の増減要因の内訳】

営業利益の増減要因です。

- ・乳製品セグメントは、増益要因として、ニュートリション事業の販売物量増などによる プラス 2 億円。
減益要因として、原材料コストの上昇で マイナス 3 億円。
トータルでは、前期比 2 億円の 減益 となりました。
- ・飲料・デザート類セグメントは、増益要因として、学校給食用牛乳の供給回復、機能性ヨーグルトの販売物量増などで プラス 2 億円、新商品「MBPドリンク」の発売などによる製品構成の改善で プラス 10 億円。
減益要因としては、宣伝促進費で マイナス 7 億円などがあり、
トータルでは、前期比 7 億円の 増益 でした。
- ・飼料・種苗セグメントは、飼料事業の販売単価の上昇による プラス 4 億円を主因に、トータルで、前期比 2 億円の 増益 となりました。

全体では、前期比 11 億円の 増益 となりました。

2022年3月期 第2四半期 業績結果

4

連結貸借対照表

(億円) (億円未満切捨て)

	2021年 3月期末	2022年 3月期 第2四半期末	増減額		2021年 3月期末	2022年 3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	1,617	1,680	+63	流動負債	1,285	1,316	+30
固定資産	2,369	2,373	+4	固定負債	718	709	△8
総資産 4,053億円 (前期末比 +67億円)				純資産	1,982	2,027	+45

増減 要因	流動資産	- 現金預金 +36億円 - 売上債権 +58億円 - その他 △32億円
	固定資産	- 有形固定資産 +10億円 - 投資有価証券 △5億円
	流動負債	- 仕入債務 +21億円 - 短期借入金 +2億円 - その他 +6億円
	固定負債	長期借入金 △2億円
	純資産	株主資本等 +48億円
自己資本比率 49.4%		



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

【連結貸借対照表】

連結貸借対照表です。

資産合計は 4,053億円 前期末比 67億円の増加です。
 流動資産は、63億円 増加、
 固定資産は、4億円 増加しました。

流動負債は、30億円 増加、
 固定負債は、8億円 減少しました。

純資産は 2,027億円 前期末から 45億円増加しました。

なお、連結自己資本比率は 49.4%、
 前期末比で 0.4ポイント 向上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円未満切捨て)

		主な内訳	2021年3月期 上期累計
営業CF	+186億円	- 税金等調整前四半期純利益 123億円 - 減価償却費 84億円 - 未収入金の増減額 (△は増加) 36億円 - 売上債権の増減額 (△は増加) △58億円	96億円
投資CF	△109億円	有形及び無形固定資産の取得による支出 △111億円	△157億円
財務CF	△41億円	- 長期借入金の返済による支出 △3億円 - 配当金の支払額 △27億円 - 子会社株式の取得による支出 △10億円	78億円
現預金増減額 +36億円		有利子負債 790億円	



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

【連結キャッシュ・フロー計算書】

キャッシュ・フローです。

営業活動によるキャッシュ・イン 186億円、
投資活動によるキャッシュ・アウト 109億円、
さらに財務活動によるキャッシュ・アウト 41億円の結果、
現預金残高は36億円増加しました。

セグメント別業績予想の修正

(億円)

	2021年3月期 通期実績		2022年3月期 修正後予想		対前年 増減率		当初予想差	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
乳製品	2,306	136	2,400	129	4.0%	△5.7%	0	0
飲料・デザート	2,486	41	2,490	52	0.1%	25.5%	△50	△3
飼料・種苗	410	11	460	10	12.1%	△11.0%	50	0
その他	341	10	350	14	2.5%	32.6%	0	3
合計	5,545	197	5,700	205	2.8%	3.6%	0	0



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

【2022年3月期 セグメント別予想の修正（通期）】

通期の予想におけるセグメント別の売上高、および営業利益の修正についてです。

上期実績を踏まえ、通期を見通した結果、合計値の変更はしませんが、各セグメントの売上高、営業利益の修正を行いました。

その内訳ですが、
飲料・デザート類セグメントは下方修正、
飼料・種苗セグメント、およびその他セグメントは上方修正しました。

営業利益増減要因 – 2022年3月期通期 –

7

(億円未満切捨て)

2021年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減額	セグメント別の増減額			
197億円	205億円	7億円	乳製品 △7億円	飲料・デザート類 10億円	飼料・種苗 △1億円	その他 3億円
限界利益 合計	31		8	17	3	2
販売単価差	8		4	1	3	0
販売物量増減	25		16	7	0	2
製品構成差	18		1	17	0	0
原材料コスト	△18		△11	△7	0	0
オペレーションコスト	△6		△4	△2	0	0
その他	4		2	1	0	0
固定費その他 合計	△24		△15	△7	△4	1
宣伝促進費	△16		△7	△9	0	0
固定経費	△8		△8	2	△4	1



Copyright © HEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

【連結営業利益の増減要因の内訳】

修正後の通期予想における営業利益の増減要因です。

- ・乳製品セグメントは、増益要因として、ナチュラルチーズの好調や、ニュートリション事業の販売物量増などによるプラス 16 億円、価格改定を行った油脂の販売単価差などで プラス 4 億円。
減益要因として、原材料コストの上昇で マイナス 11 億円、主として新工場の減価償却費による固定経費の増加で マイナス 8 億円。
トータルでは、前期比 7 億円の 減益 を見込んでいます。
- ・飲料・デザート類セグメントでは、増益要因として、学校給食用牛乳の供給回復、機能性ヨーグルトの販売物量増などで プラス 7 億円、新商品「MBPドリンク」の発売などによる製品構成の改善で プラス 17 億円。
減益要因としては、原材料コストの上昇で マイナス 7 億円、宣伝促進費で マイナス 9 億円 などがあり、トータルでは前期から 10 億円の 増益 を見込んでいます。
- ・飼料・種苗セグメントは、飼料事業の販売単価の上昇による プラス 3 億円に対し、飼料基金負担金などの固定経費の増加による マイナス 4 億円があり、トータルでは 前期並 となる見込みです。

全体では、前期比 7 億円の 増益 となる見込みです。

連結業績予想 – 2022年3月期通期 – (変更なし)

8

経営成績

(億円、%)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	対前年 増減率
売上高	5,545	5,700	154	2.8%
営業利益	197	205	7	3.6%
経常利益	216	215	△1	△0.8%
純利益※	149	125	△24	△16.2%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

配当

普通配当	50円
連結配当性向	27.0%



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

【2022年3月期連結業績予想（通期）】

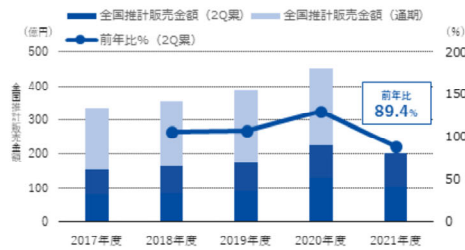
今年度通期の連結業績予想の合計値、および配当予想につきましては、今年の5月13日に公表した予想から変更はありません。

未来は、ミルクの中にある。

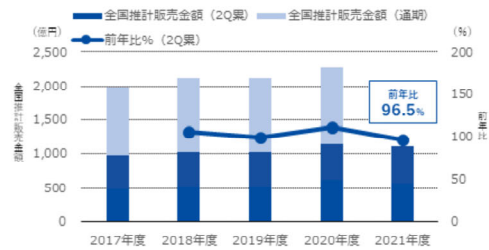


本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。

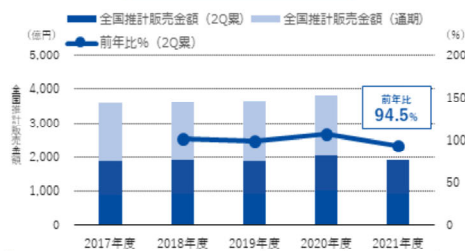
バター



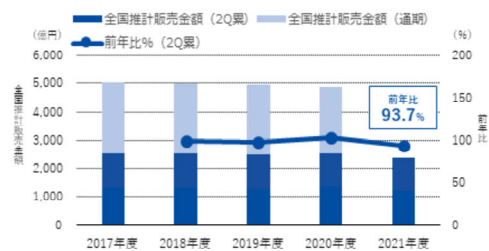
チーズ



牛乳 (牛乳+成分調整牛乳)



ヨーグルト



(出典) インテジスRI+(SM,CVS,DG,HC)2017年4月~2021年9月 累計販売金額



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.

参考資料：当社市場シェア / 輸入原料チーズの価格推移

11

当社市場シェア

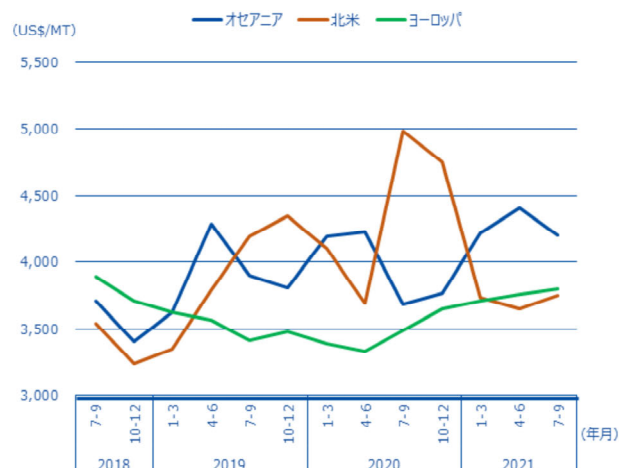
全国家庭用 推計販売金額
2022年3月期第2四半期
当社市場シェア
(2021.4-2021.9)

販売金額ベース

バター	45.7%
油脂	52.8%
チーズ	26.2%
牛乳 (牛乳+成分調整牛乳)	5.0%
乳飲料	14.3%
ヨーグルト	12.6%
デザート (チルド完成品)	16.0%

(出典) インデジスRI+ (SM, CVS, DG, HC)

輸入原料チーズの価格推移



「各4半期の移動平均」「FOB価格」「チェダーチーズ」
オセアニア：USDA、北米：CME、ヨーロッパ：MMO



Copyright © MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd. All Rights Reserved.